

沖縄市第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)及び 第3期特定健康診査・特定保健指導実施計画【中間評価】



1. 保健事業実施計画(データヘルス計画)の中間評価について

沖縄市では、法律や国指針に基づき「第2期保健事業実施計画」と「第3期特定健康診査・特定保健指導実施計画」を、平成29年度に一体的に策定しました。

策定から3年後(令和2年度)に、計画策定時(平成28年度)と令和元年度の結果等を比較した中間評価を行い、保健事業の実施・評価・改善(見直し)について検証し、下記の通り公表致します。

2. 達成状況について(平成29年度～令和元年度)

○目標項目・実測値(下表参照)

※赤字は、中間評価で修正した初期値。

関連計画・制度等	目標	評価指標	達成すべき目的	課題を解決するための目標	初期値			中間評価値	現状値の把握方法
					2016年(H28)	2017年(H29)	2018年(H30)	2019年(R1)	
データヘルス計画	中長期目標	アウトカム指標	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症による透析の医療費の伸びを抑制する(平成28年度との比較)	脳血管疾患の総医療費に占める割合 2.0%に抑える	2.0%	2.1% (参考)	1.9% (参考)	2.4%	KDBシステム 版、心は厚労省様式3-5 腎は様式3-7
				虚血性心疾患の総医療費に占める割合 2.0%に抑える	2.1%	1.8% (参考)	1.6% (参考)	1.6%	
				慢性腎不全(透析有)の総医療費に占める割合 0.4%減少	8.9%	7.1% (参考)	5.6% (参考)	5.6%	
			メタボリックシンドローム・予備群の減少率 25%	20.2%	15.9%	16.2%	16.8%		
			健診受診者の高血圧の割合減少 0.7%(160/100以上)	4.4%	4.3%	7.8%	8.5%		
	短期目標	アウトプット指標	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の発症を予防するために、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の該当者を減らす	健診受診者の脂質異常者の割合減少 2.0%(LDL 160以上)	12.0%	12.8%	12.9%	14.9%	沖縄市データヘルス計画、ヘルシーおきなわシティ21
				健診受診者の糖尿病有病者の割合減少 1.0%(HbA1c6.5以上)	9.6%	10.5%	10.5%	11.6%	
				糖代謝判定(要精査者)のうち、医療受診をした者の割合	52.1%	53.8%	54.6%	67.5%	
				HbA1c8.0以上の通院者または中断者に対する保健指導(受診勧奨)を実施した割合	84.6%	87.7%	86.3%	85.1%	
				【新規】健診受診者のHbA1c8.0%以上の未治療者の割合減少 ※H28-H30は、実績を参考値として記載。	0.50% (参考)	0.61% (参考)	0.41% (参考)	0.70% (参考)	
保険者努力支援制度	短期目標	アウトプット指標	医療費削減のために、特定健診受診率、特定保健指導の実施率の向上により、重症化予防対象者を減らす	特定健診受診率60%以上	36.7%	35.1%	34.8%	35.9%	特定健診等データ管理システム(法定報告値)
			特定保健指導実施率60%以上	54.9%	56.4%	46.1%	52.9%		
			特定保健指導対象者の減少率25%	15.8%	15.1%	14.1%	13.1%		
			がんの早期発見、早期治療	がん検診受診率 胃がん検診 25%以上	7.4%	7.5%	14.3%	11.7%	地域保健事業報告
				肺がん検診 25%以上	9.9%	11.9%	11.2%	11.3%	
				大腸がん検診 25%以上	7.4%	9.5%	9.4%	8.4%	
				子宮頸がん検診 25%以上	11.1%	10.8%	10.6%	10.2%	
				乳がん検診 25%以上	12.6%	12.1%	12.4%	11.9%	
			【新規】5つのがん検診の平均受診率の増加		0.68%増	1.22%増	0.88%減		
			歯科検診(歯周病健診)	歯科健診(歯周病健診含む)の実施					
自己の健康に関心を持つ住民が増える	【新規】健康ポイントに取り組む割合増加(30~50代)		38.9% (参考)	49.2% (参考)	79.1%	ヘルシーおきなわシティ21			
後発医薬品の使用により、医療費の削減	後発医薬品の使用割合 87.2%	72.8%	79.5% (参考)	83.4% (参考)		厚生労働省			

※ は、中間評価から新たに追加した項目。

目標達成

の主な項目(改善)

- 虚血性心疾患や慢性腎不全(透析有)など重症化疾患(医療費)の総医療費に占める割合
- 糖尿病に関する事業項目
- ・糖代謝判定(要精査者)のうち医療受診をした者
- ・HbA1c8.0以上の通院者または中断者に対する保健指導(受診勧奨)を実施

目標未達成

の主な項目(悪化)

- 脳血管疾患(医療費)の総医療費に占める割合
- 健診(検診)受診者の項目
- ・メタボリックシンドローム・予備群の減少率
- ・高血圧(160/100以上)の割合減少
- ・脂質異常症(LDLコレステロール 160以上)の割合減少
- ・特定健診受診率
- ・特定保健指導実施率及び減少率
- ・がん検診受診率(H30年の胃がんを除く)

3. アウトカム評価（主な課題のみ抜粋）

(1) 中長期目標

生活習慣病の重症化疾患のうち、脳血管疾患、虚血性心疾患、慢性腎不全についてそれぞれにかかるお金(医療費)のうち、総医療費に占める割合を比較しました。

出典) KDB システム

		総医療費	※一人あたり医療費		中長期目標疾患										
			金額	県内順位	脳		心		腎		腎				
					脳梗塞・脳出血	★評価項目 目標値	狭心症・心筋梗塞	★評価項目 目標値	慢性腎不全(透析有)	★評価項目 目標値	慢性腎不全(透析無)				
沖縄市	H28	11,123,417,230	19,644	34位	223,319,690	2.01%	2.0%	230,389,940	2.07%	2.1%	994,598,980	8.94%	8.9%	25,462,320	0.23%
	H29	10,833,233,480	20,042	35位	222,488,900	2.05%		198,508,040	1.83%		768,424,750	7.09%		21,775,260	0.20%
	H30	10,605,432,280	20,617	36位	196,514,210	1.85%		169,931,070	1.60%		594,091,380	5.60%		24,511,280	0.23%
	R1	10,908,230,950	21,621	35位	263,267,960	2.41%	2.0%	168,532,410	1.55%	2.0%	614,849,550	5.64%	8.8%	37,990,690	0.35%

※) 一人あたりの医療費は、生活習慣病にかかった医療費のみ表しています。順位は、県内 41 市町村の医療費の高い順位になります。

総医療費は H28 年度と比べ、R 元年度は減少していますが、一人あたり医療費は年々増加しています。これは、国保人口が減少傾向にある事と、生活習慣病などの医療費が増加している事などが要因であると考えられます。
重症化疾患である虚血性心疾患や慢性腎不全(透析有)は、医療費が減少しています。一方で、脳血管疾患は H28 年度と比べて増加しています。

(2) 短期目標

○メタボリックシンドロームの減少率

	前年度該当者 または予備群 だった数	Aのうち 当年度は 改善した者の数	★評価項目	
			メタボ・予備群 減少率(%)	目標値 (%)
			B/A	
	A	B	B/A	
H28	2715	548	20.2%	
H29	2723	433	15.9%	21.0%
H30	2539	411	16.2%	21.5%
R1	2561	430	16.8%	22.0%

メタボリックシンドロームの減少率について、R1 年度 16.8%と、目標値 22.0%には届いていません。

○高血圧(160/100 以上)

	受診者数	★評価項目					
		II 度高血圧		III 度高血圧		II+III %	目標値 %
		人数	%	人数	%		
H28	9,199	335	3.6%	76	0.8%	4.4%	
H29	8,577	321	3.7%	53	0.6%	4.3%	4.6%
H30	8,250	524	6.4%	119	1.4%	7.8%	4.5%
R1	8,429	568	6.7%	151	1.8%	8.5%	4.4%

●血圧判定表

判定	収縮期血圧	拡張期血圧
正常血圧	120未満	80未満
正常高値血圧	120~129	
高値血圧	130~139	80~89
高血圧 I 度	140~159	90~99
II 度	160~179	100~109
III 度	180以上	110以上



R1 年度 8.5%と2倍近く悪化し、脳・心臓・腎臓など重症化疾患との関連が深い為、喫緊の課題です。

○脂質異常症(LDL コレステロール 160 以上)

	受診者数	受診勧奨判定値				★評価項目	
		160~179		180以上		160以上	目標値
		人数	%	人数	%	%	%
H28	9,199	671	7.3%	435	4.7%	12.0%	
H29	8,577	731	8.5%	368	4.3%	12.8%	12.5%
H30	8,241	679	8.2%	381	4.6%	12.8%	12.2%
R1	8,423	779	9.2%	479	5.7%	14.9%	12.0%

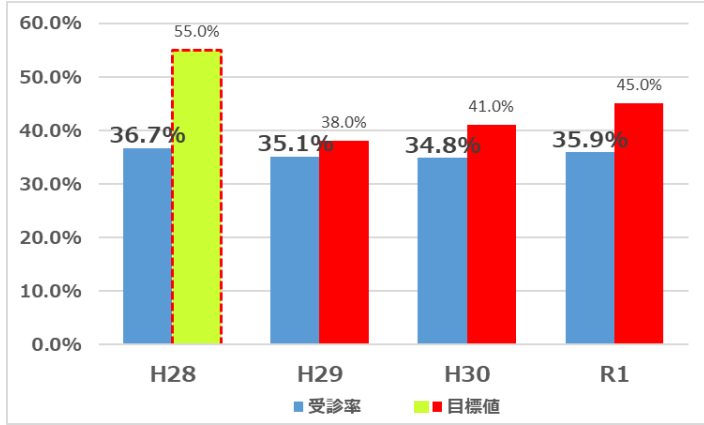
脂質異常症、糖尿病ともに年々増加しており、生活習慣病の対策が必要です。

○糖尿病(HbA1c6.5 以上)

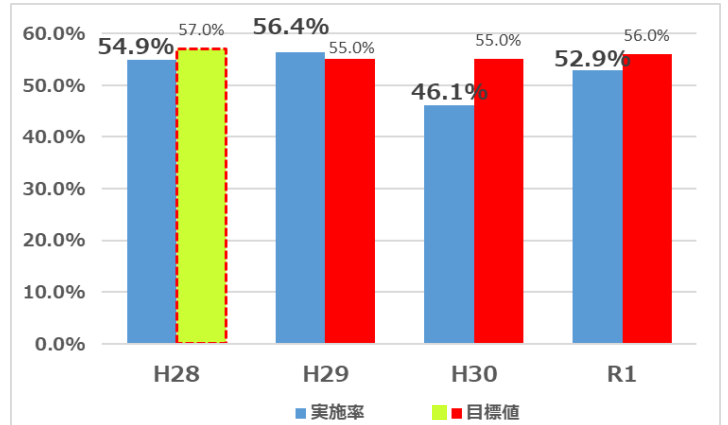
	受診者数	受診勧奨判定値						★評価項目	
		参考) 血糖コントロール目標						6.5以上	目標値
		合併症予防のための目標		治療強化が困難な際の目標		合併症リスクが更に高い			
		人数	%	人数	%	人数	%	%	%
		6.5~6.9		7.0~7.9		8.0以上			
H28	9,073	377	4.2%	313	3.4%	177	2.0%	9.6%	
H29	8,451	369	4.4%	332	3.9%	189	2.2%	10.5%	12.5%
H30	8,131	371	4.6%	327	4.0%	154	1.9%	10.5%	12.2%
R1	8,299	399	4.8%	363	4.4%	200	2.4%	11.6%	12.0%

4. アウトプット評価

(1) 特定健診受診率



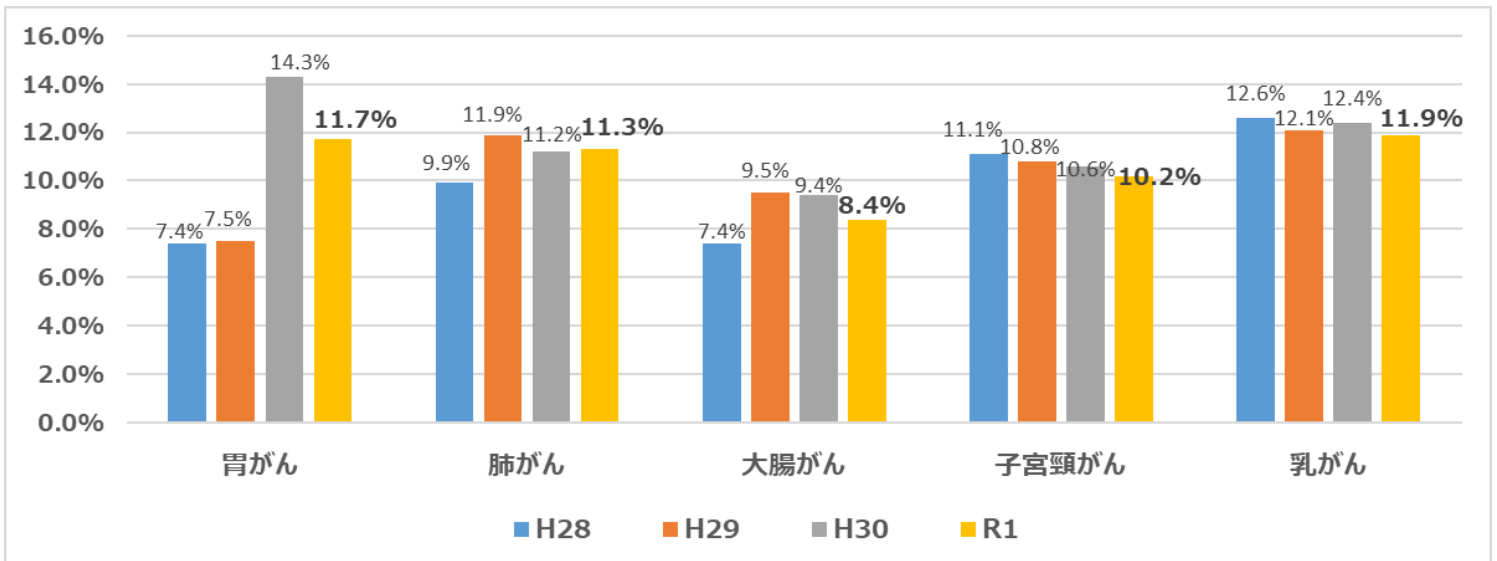
(2) 特定保健指導実施率



※H28年度の目標値は、第2期特定健診・特定保健指導実施計画(H25-H29)から計上しています。
H29年度～R1年度の目標値は、「第3期特定健診・特定保健指導実施計画」から計上しています。

中間評価(R1年度)では、特定健診受診率(35.9%/目標値 45.0%)、特定保健指導実施率(52.9%/目標値 56.0%)ともに、目標値は未達成となっています。

(3) がん検診受診率



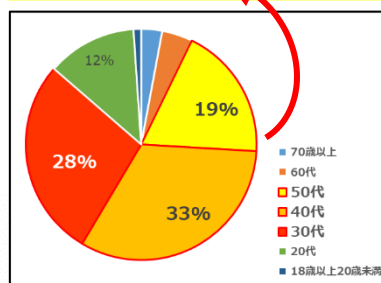
がん検診は、H30年度の胃がんを除き、目標未達成となっています。働き盛り世代の受診率が低い事から、これら世代への受診勧奨が大きな課題です。

(4) おきはくん健康ポイント事業

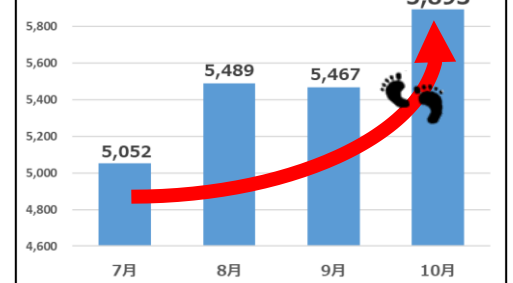
健康無関心層を含めた市民に対して、スマートフォンアプリを活用し、日々の歩数に対してポイントを付与し、一定のポイントを獲得した者に特典を贈呈する。



参加者 374 名のうち、30代-50代で、約8割を占めた。



参加者の歩数がアップ!



5. 今後の課題と対策について

(1) 目標値(R2年度～R5年度)

※赤字は、中間評価から修正した目標項目、初期値、目標値。

関連計画・制度等	目標	評価指標	達成すべき目的	課題を解決するための目標	2020年			最終評価値	現状値の把握方法
					(R2)	(R3)	(R4)	2023年(R5)	
データヘルス計画	中長期目標	アウトカム指標	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症による透析の医療費の伸びを抑制する (平成28年度との比較)	脳血管疾患の総医療費に占める割合 2.0%に抑える				2.0%	KDBシステム 脳、心は厚労省様式3-5 腎は様式3-7
				虚血性心疾患の総医療費に占める割合 2.0%に抑える				2.0%	
				慢性腎不全(透析有)の総医療費に占める割合 8.0%に抑える				8.0%	
				メタボリックシンドローム・予備群の減少率 20%	18.0%	18.5%	19.0%	20.0%	
				健診受診者の高血圧の割合減少(160/100以上を 6.5%に抑制)	8.0%	7.5%	7.0%	6.5%	
	短期目標	アウトプット指標	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の発症を予防するために、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の該当者を減らす	健診受診者の脂質異常者の割合減少(LDL160以上を 12.0%に抑制)	13.5%	13.0%	12.5%	12.0%	沖縄市データヘルス計画、ヘルシーおきなわシティ21
				健診受診者の糖尿病有病者の割合減少(HbA1c6.5以上を 10.5%に抑制)	11.0%	10.8%	10.7%	10.5%	
				糖代謝判定(要精査者)のうち、医療受診をした者の割合 60%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	
				HbA1c8.0以上の通院者または中断者に対する保健指導(受診勧奨)を実施した割合 90%	86.0%	87.0%	89.0%	90.0%	
				【新規】健診受診者のHbA1c8.0%以上の未治療者の割合減少 ※H28-H30は、実績を参考値として記載。	0.65%	0.60%	0.55%	0.50%	
保険者努力支援制度	短期目標	アウトプット指標	医療費削減のために、特定健診受診率、特定保健指導の実施率の向上により、重症化予防対象者を減らす	特定健診受診率 39.5%以上	38.0%	38.5%	39.0%	39.5%	特定健診等データ管理システム(法定報告値)
			特定保健指導実施率 60%以上	57.0%	58.0%	59.0%	60.0%		
			特定保健指導対象者の減少率 20%	17.0%	18.0%	19.0%	20.0%		
			がんの早期発見、早期治療	がん検診受診率 胃がん検診 16%以上	13.0%	14.0%	15.0%	16.0%	地域保健事業報告
				肺がん検診 16%以上	13.0%	14.0%	15.0%	16.0%	
				大腸がん検診 16%以上	11.0%	13.0%	15.0%	16.0%	
				子宮頸がん検診 16%以上	14.0%	14.5%	15.0%	16.0%	
				乳がん検診 16%以上	14.0%	14.5%	15.0%	16.0%	
			【新規】5つのがん検診の平均受診率の増加	2.3%増	1.0%増	1.0%増	1.0%増		
			歯科検診(歯周病健診)	歯科健診(歯周病健診含む)の実施					
自己の健康に関心を持つ住民が増える	【新規】健康ポイントに取り組む割合増加(30～50代)	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	ヘルシーおきなわシティ21			
後発医薬品の使用により、医療費の削減	後発医薬品の使用割合 87.2%				87.2%	厚生労働省			

※ は、中間評価から新たに追加または修正した項目。

(2) 健康課題に対する主な対策

○健診受診率アップ

- ・外部業者(キャンサースキャン)に委託し、AI分析を行った健(検)診受診勧奨
- ・予約制による集団健診の実施

○医療機関との連携

- ・トライアングル事業の強化
- ・ちゅらまーみプロジェクト
(うるま市、中部地区医師会、協会けんぽ)

○高齢者の保健事業と 介護予防の一体的実施

- ・関係課(後期高齢担当、介護保険課、市民健康課)と連携し、円滑な事業運営を図る。



○保健指導・受診勧奨の強化

- ・高血圧や糖尿病のハイリスク者を優先した保健指導の実施
- ・医療への受診勧奨強化を図る
- ・糖尿病連携手帳の活用

○ポピュレーションアプローチ

- ・市民が自ら継続して健康づくりに取り組むための環境づくり
- ・市公式ホームページ、SNS等を活用した周知、啓発、実践活動

参考データ) KDBシステム、あなみツール(国保連合会提供)、市システム(健康カルテ等)より集計。